

# 羽高現役部活紹介 第4回なぎなた部

授業は思い出せないけど部活のことは幾つになっても思い出せる。本号はなぎなた部を探訪。

全国大会に出場できるチャンスが巡ってきた時、周りにいる人が一緒になって喜んでくれる、応援してくれる部活でありたいと思っています。

なぎなた部の昨年度の大会成績ですが、県高校総体では団体・個人・演技において散々な負け方をしましたが、その悔しさをバネに北信越大会では、優勝は逃したものの団体2位の結果を残すことができ、生徒たちは本当によく健闘しました。

また県新人大会（全国高校選抜大会県予選）では団体・個人・演技と三冠をとり、全国への切符を手に入れました。



大会では緊張して思い通りに試合ができず、悔しい思いをしましたが、生徒達にとっては、とても良い経験ができたと思います。

生徒達の今年の目標は、全国高校総体で団体ベスト8に入ることです。どの生徒もやる気は満々で、毎日汗だくになりながら、自分たちの目標に向かって一生懸命努力しています。ただ全国ベスト8に入るときには、技術も気持ちもそれなりのレベルが必要となり、限られた時間の中で、内容の濃い練習が必然となります。生徒たちの目標達成のために、そしてやる気が本気になっていけるように、私自身も全力で指導にあたりたいと思っています。

最後になりましたが、関東同窓会の益々のご発展を心より祈念申し上げます。



なぎなた部監督  
中越 早代



「全国ベスト8」  
を目指して

羽咋高校に赴任し、早1年が経ちました。1年間、時が過ぎるのが本当に早く感じ、出勤するのが楽しくて、毎日ワクワクしていました。体育科の先生方はもちろんですが、他の先生方や生徒達のお陰と感謝しています。

現在、なぎなた部は3年生7名、2年生6名で毎日練習に励んでいます。残念ながら新1年生の加入はなく少し寂しい気もしますが、また新たな気持ちで頑張っていきたいと思います。

昨年、生徒たちと一緒に「繋ぐ」という言葉を部のスローガンにしようと決めました。この言葉には「心も技も皆で繋げていこう」という思いが込められています。



私には、部活動を指導するうえで大切にしていることが2つあります。1つは、競技力はもちろん大切だと思いますが、その前に「人間力」をつけることだと思っています。地道に努力し、周りに対して気配りができ、人の気持ちがわかる選手になってほしいと思います。もう1つは、誰に対しても感謝の気持ちをもつということです。





これ羽咋高校の3年間で培った羽高魂のお蔭かなと感じておりますが、諸先輩のように、残る人生にも更に磨きをかけて参りたいと考えております。

最後になりますが、同窓の後輩、先輩の皆様の益々のご健勝をお祈り致しましてご挨拶に代えさせていただきます。敬具



浅草で「人力車 一心」  
～創業時世話になった同級生～

片田 圭祐 高48 羽咋・千里浜

1977年生まれの片田と申します。大学で関東に出てきて以来20年以上が過ぎ、人生ってあつという間だなと感じる今日この頃です。

現在私は浅草で人力車でガイドをする仕事で個人事業(人力車一心)を営んでおります。26歳の時にこの仕事に出会い3年前に独立を決意した時、いろんな不安があった時に助けてくれたのが、羽咋高校の同級生達でした。心強く、とても嬉しかったです。本当にありがとう。その時に、学生時代付き合いのあった人も余り無かった人も快く協力してくれて、人の有り難みを感じました。私も周りを見習って、誰かになんか協力出来る時はしなくてはと思いました。

そして、青春時代に同じ学校という空間で過ごした事って、大人になってくると懐かしさと相まって親近感をとても感じるものだと思います。

そう言えば、そんな羽咋高校同級生の1人が、4月から羽咋で葺LABO(旧ビデオショップアイの所)と言う面白い場をオープンさせた様です。イベントとか会議に使えたり、そこから羽咋を元気にする様な色々な事が生まれるのを願って作ったそうです。アイデアマンな奴なのでどんな風になってくのか皆さんも同じ羽咋卒業生として見守って頂けると嬉しいです。



ではまた何処かでお会いした時には宜しくお願致します。

関東にお住まいの羽咋中学校・羽咋高等女学校・県立羽咋高等学校を卒業された方をご存知の方は、関東同窓会事務局へご紹介ください。

## 会員ネットワーク

近況報告をして頂き、次の人にリレーすることで、会いたい人 知りたい友の消息など会員の交流促進に役立てたいと思います。



世界の人々の優しさを体験  
～幸せな航海人生だった～

ほった 朗 高30 宝達志水・菅原

1983年春、大学を卒業し東京の外航海運会社へ入社、航海士として3年間の海上勤務の後に当時の海運不況の中で陸上勤務へ転向、海運会社間の再編・合併を経て1998年より日本郵船(NYK)グループの外航海運会社、NYKバルク・プロジェクト(丸ノ内本社)に勤務しております。

現在は輸送品質保証業務の室長職に就いておりますが、羽咋の母校(港)を出帆し、40年経ち定年も2年後と迫っておりますが、この航海はまだしばらく続くようにも感じております。

この間の陸上勤務、海外駐在(ジャカルタ、カタル、ベルギー)を経て、東南アジア、インド、中東、欧州の様々な人々とプロジェクト業務にも携わることが出来ました。



プロジェクト貨物荷役監督中の写真

振り返れば、色々な世界を見れた幸運な人生(航海)だったと考えております。

現在は東京、大井町に住いし今春は長女も大学を卒業、都内で勤務するに至っております。外航商船の“キャプテン”の夢は叶えられませんでした。お陰様で替え難い貴重な経験と世界の人々の優しさに接することができました。